

平成24年度下半期 財政状況の公表

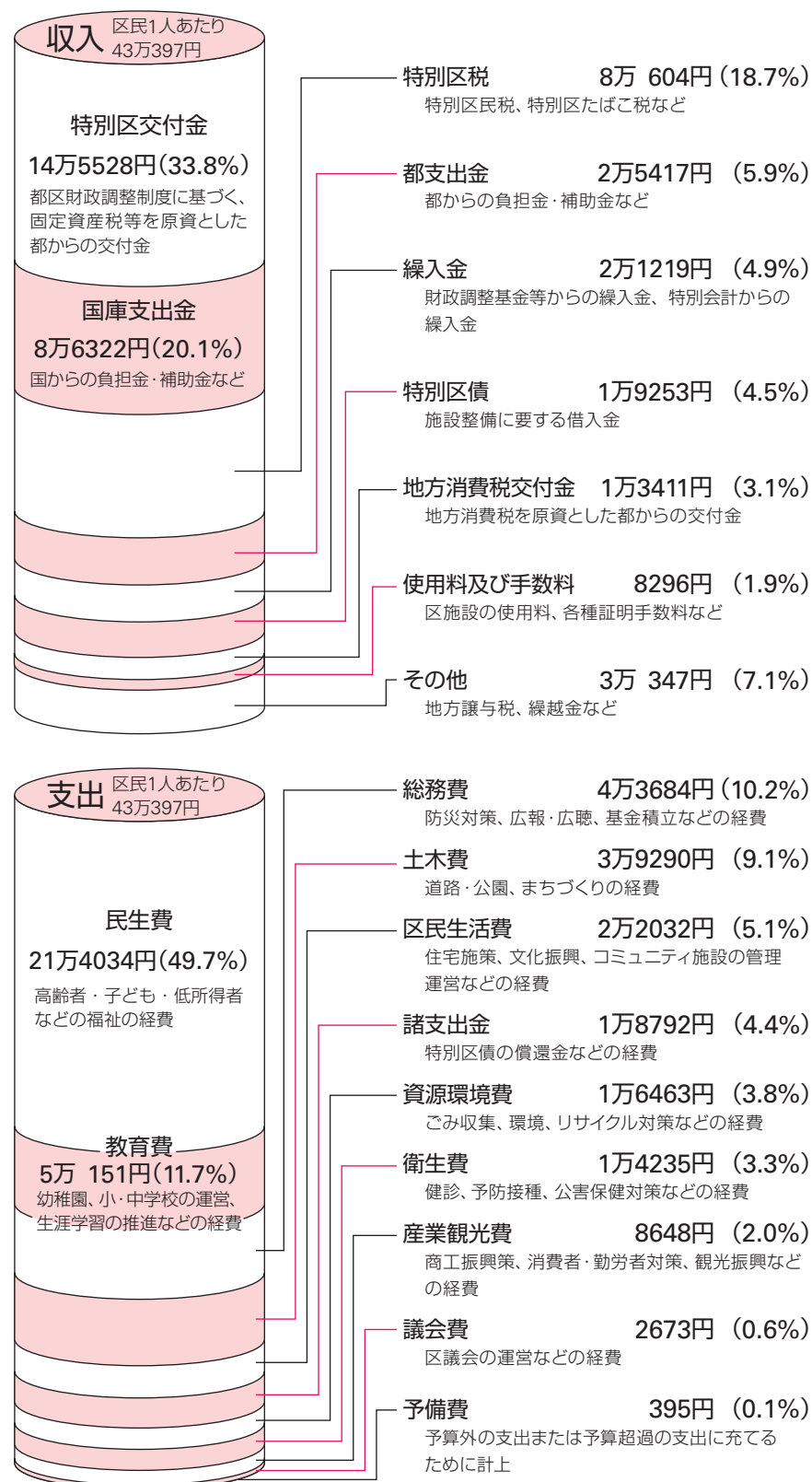
地域活性化をめざして、計画どおりに事業を執行

平成24年度下半期は、東京スカイツリー®の開業により、区内に多くの観光客が訪れ、地域経済の活性化の効果が徐々に現われ始めました。しかし、中小零細事業所を中心に、昨年夏以降の世界経済の減速等が影響し、歳入の柱となる特別区民税が前年度と比べ微増にとどまるなど、厳しい財政状況を改善するまでには

至りませんでした。こうした中、区では、墨田区基本計画に掲げた「東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまちづくり」をはじめとする3つのリーディングプロジェクトの実現に向けて、予算に計上した事業に積極的に取り組みました。また、予防接種費の追加や東京都知事等の選挙執行費などを補正予算で対応したうえで、予算に計上した事業を計画的・効率的に執行することができました。

24年度 区民1人あたりの予算額(一般会計)

1人あたり 43万397円
一般会計予算額 1088億9184万円 25年4月1日現在の人口 25万3003人



①収入・支出ともに()内の数字は、一般会計予算額に占める比率です。
②一般会計予算額のうち、人件費は207億4120万円(区民1人あたり8万1980円)です。

予算の状況

【一般会計】24年10月1日以降、下表の補正を行った結果、最終予算額は1088億9184万円となりました。

【特別会計】当初予算に必要な補正を行うことにより、最終予算額は、国民健康保険特別会計が294億5921万円、介護保険特別会計が165億5718万円、後期高齢者医療特別会計が46億9774万円となりました。

■24年度一般会計予算の主な補正予算

11・12月補正…16億6594万円の追加	3月補正…8億5250万円の追加
▶東京都知事選挙執行費	▶緊急経済対策事業費
▶衆議院議員選挙及び最高裁判所裁判官国民審査執行費	▶不燃化促進事業、すみだ北斎美術館建設事業、保育園耐震改修事業等の12事業費
▶財政調整基金積立金追加	▶財政調整基金積立金追加
▶安全・安心まちづくり推進事業費追加	▶文化観光基金積立金追加
▶心身障害者自立支援給付事業費追加	▶国民健康保険特別会計繰出金追加
▶児童発達支援事業費追加	▶すみだ北斎美術館資料取得費
▶生活保護扶助費追加	▶職員退職手当追加
▶予防接種費追加	▶各種事務事業の不用経費の減額 等
▶給与改定に伴う人件費の減額	
▶過年度国庫支出金等返還金追加 等	

収入・支出の概況

25年3月31日現在の24年度各会計の予算現額と収支の状況は、下表のとおりです。一般会計の予算現額に対する執行率は、歳入が86.5%、歳出が81.9%となっています。

なお、事務処理手続等の都合で3月末日までに執行できなかったものについては、出納整理期間(4月1日～5月31日)中に執行しました。

■24年度予算の収支の状況(25年3月31日現在)

区分	予算現額	収入額	支出額
一般会計	1095億3109万円	947億1544万円(86.5%)	896億8023万円(81.9%)
国民健康保険特別会計	294億5921万円	255億7307万円(86.8%)	263億3282万円(89.4%)
介護保険特別会計	165億5718万円	161億7740万円(97.7%)	149億2151万円(90.1%)
後期高齢者医療特別会計	46億9774万円	46億4235万円(98.8%)	43億5972万円(92.8%)

①予算現額とは、最終予算額に23年度からの繰越分を加えたものです。23年度からの繰越額は、一般会計で6億3925万円ありました。
②収入額・支出額欄の()内の数字は、それぞれの予算現額に対する割合です。
③各会計の収入・支出ともに出納整理期間(4月1日～5月31日)中に執行・整理を行い、いずれも予算計上額をほぼ達成しています。

区民負担の概況

区の施策を実施するために必要な財源として、区民の皆さんに税や各種使用料、手数料を負担していただいています。このうち、特別区税の予算現額と収入額は下表のとおりです。

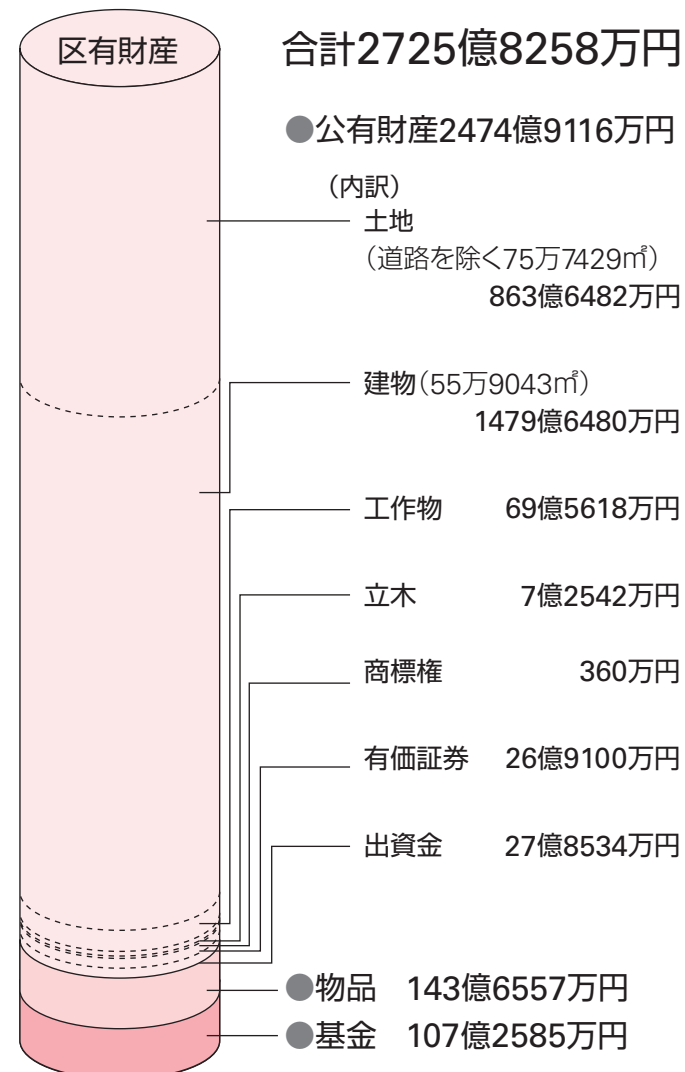
■24年度特別区税の予算現額と収入額(25年3月31日現在)

内訳	予算現額	収入額	収入率
特別区民税	181億800万円	159億5894万円	88.1%
軽自動車税	7300万円	7634万円	104.6%
特別区たばこ税	22億円	20億5864万円	93.6%
入湯税	1200万円	1383万円	115.3%
合計	203億9300万円	181億775万円	88.8%

①上記の収入額に加え、出納整理期間(4月1日～5月31日)中にも収入がありました。

区有財産の現在高

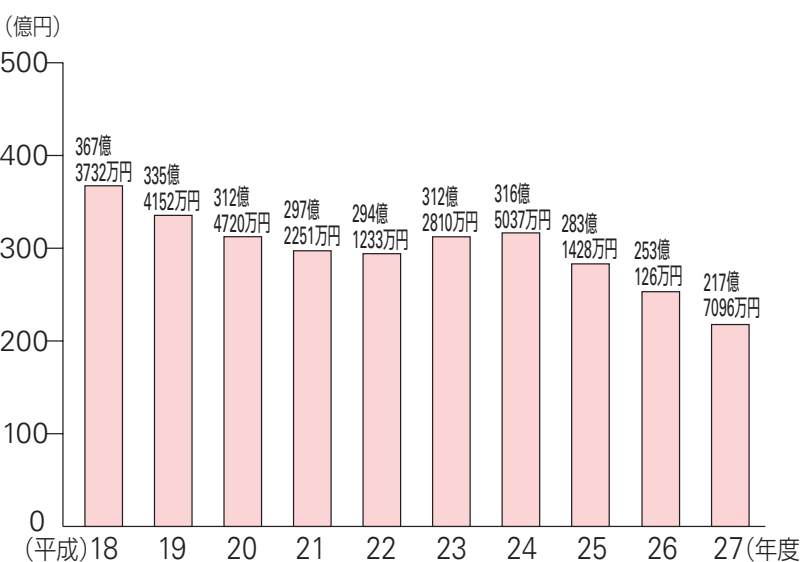
25年3月31日現在の区有財産の現在高は、下のグラフのとおりです。



公債の発行残高

学校施設の改築や、まちづくり事業などの公共施設の整備には、多額の経費がかかります。区は、こうした財源を確保し、現在から将来にわたる区民の皆さんの世代間の負担の公平化を図るため、公債(特別区債)を発行しています。

各年度末における公債の残高は、下のグラフのとおりです。



①23年度・24年度と残高が上昇しているのは、学校施設建設事業や地域プラザ整備事業、市街地再開発等のまちづくり事業などに特別区債を活用したためです。
②25年度以降の残高は、特別区債を新たに発行しない場合の数値です。

区では、区民の皆さんが納めた税金等がどのように役立てられているのかをお知らせするために、区の予算と収入・支出の状況を年2回公表しています。今回は、平成24年度下半期の財政状況をお知らせします。

【問合せ】財政担当 ☎5608 - 6232

*各表中の数値は、四捨五入等により合計額が合わない場合があります。



「東日本大震災を教訓に、安全で安心して暮らせるまち」、「子育て環境が整備され、高齢者を地域で見守るまち」をめざします

一時借入金

一時借入金とは、収入と支出の時期の違いにより、事務事業を執行するうえで一時的に資金が不足する場合に、年度内償還を条件として市中銀行などから借り入れる資金のことです。

区では24年度中、この借入れを行う必要がありませんでした。

基本計画のリーディングプロジェクトを推進

25年度予算は、24年度に引き続き、墨田区基本計画に掲げる3つのリーディングプロジェクトの実現に向けた施策について、積極的に取り組む内容となっています。

また、国の緊急経済対策を活用し、不燃化促進事業や、すみだ北斎美術館の建設事業など12事業の予算を、24年度最終補正予算に前倒しして計

上することで、25年度の早期執行に努めています。

景気は、持ち直しの動きが見られ、次第に回復へ向かうことが期待されています。しかし、区の厳しい財政状況を改善するまでには至らないと予想されることから、さらなる行財政改革を断行しつつ、東京スカイツリーの開業による効果を活かし、区内全域の活性化につなげていきますので、区政へのご理解とご協力をお願いします。



東京スカイツリーを中心に、多数の人々にぎわう「国際観光都市すみだ」をめざします(写真右は、27年度開館の「すみだ北斎美術館」)